

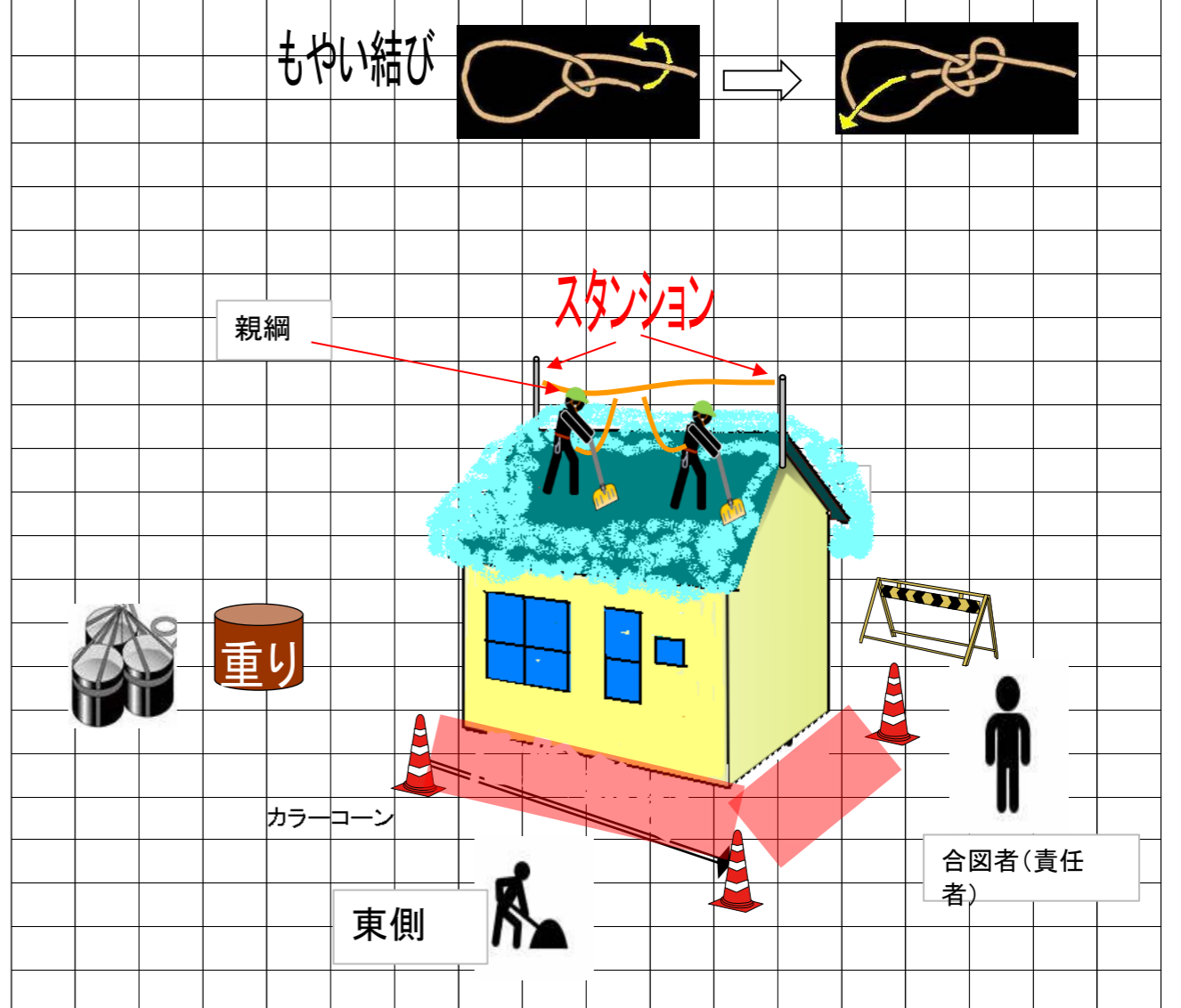
雪下ろし作業計画書(例) 現場名 ○○様宅雪下ろし

○○年 ○月 ○日

作業名	仙北太郎様宅屋根雪下ろし	事業者	○○建設	作成者	大仙 太郎
使用機械 (資材等)	種類	スコップ	スノーダンプ	はしご	
	数量	4	4	2	
	種類	親綱(ロープ)	墜落制止用器具	スタンション	ヘルメット(墜落防止用)
	数量	2	4	1組	5
作業期間	○○年 ○月 ○日 ~ ○○年 ○月 ○日				
選任・指名	責任者	大仙 次郎 携帯電話(080-1234-5678)		作業員	作業員 4名(責任者を除く)
合図方法	笛・無線・携帯電話			合図者	責任者
立入禁止措置	・監視人(1 人) ・バリケード ・トラロープ (カラーコーン)				
作業場所	場所	○○住宅屋上			
	地形	・平坦 (勾配(20)度) ・段差地 ・作業面(広い) (狭い雪止め(あり)なし・不明)			
天候(予報)	午前	晴のち曇り	予想最高気温 2 °C	予想最低気温 0 °C	
	午後	曇り	予想最高気温 4 °C	予想最低気温 2 °C	
作業方法 内容	・形状が切り妻屋根の雪下ろし作業。作業員4名のうち2名が屋根上で作業する。				
	・事前に調査した、雪止め及び、スタンションを設置しそこに親綱を張り、その親綱に墜落制止用器具を接続する。				
	・東側に雪を落とす場合には合図者と連携を図りながらカラーコーンで立入禁止区域を設け作業を行う。				
	・屋根の軒先より1m以内には近づかないこと。				
安全対策	・ヘルメット(墜落防止用)とスタンションに親綱、墜落制止用器具を使用する。保護具は、事前の点検を実施。				
	・強風等で危険な場合は作業を中止する。気温が高い場合も雪の滑落のおそれがあるため中止する。				
会社からの 指導事項	・作業手順や作業員の配置を事前に確実に作業員に周知すること。				
	・使用するヘルメットや墜落制止用器具、安全ブロックを事前に用意しておくこと。				
	・作業開始前は、保護具のチェックや危険予知活動を行ない、体調も確認すること。				

配置図(作業場所全体を示す平面図)

作業範囲、親綱設置、カラーコーンによるバリケード設置、合図者等



作業計画チェック表 ※☑して安全に作業しましょう	
計画中のチェック項目(①③④は決めること)	作業開始前のチェック項目(大丈夫の状態で作業開始)
① 親綱を取り付ける場所は? □決めた □決めてない	① 墜落制止用器具やヘルメットなど保護具の数は? □大丈夫 □足りない
② 墜落制止用器具の接続方法は? □親綱 □安全ブロック □その他	② 天候は確認していますか?(悪天候・暖気では?) □大丈夫 □していない
③ はしごの場所・固定方法は? □決めた □決めてない	③ 作業計画を作業員に周知しましたか? □大丈夫 □していない
④ 雪下ろし箇所の立入り禁止区域措置は? □決めた □決めてない	④ 体調の悪い作業員はいませんか? □大丈夫 □確認していない

社長(代表)	課長(作業者)	作業責任者